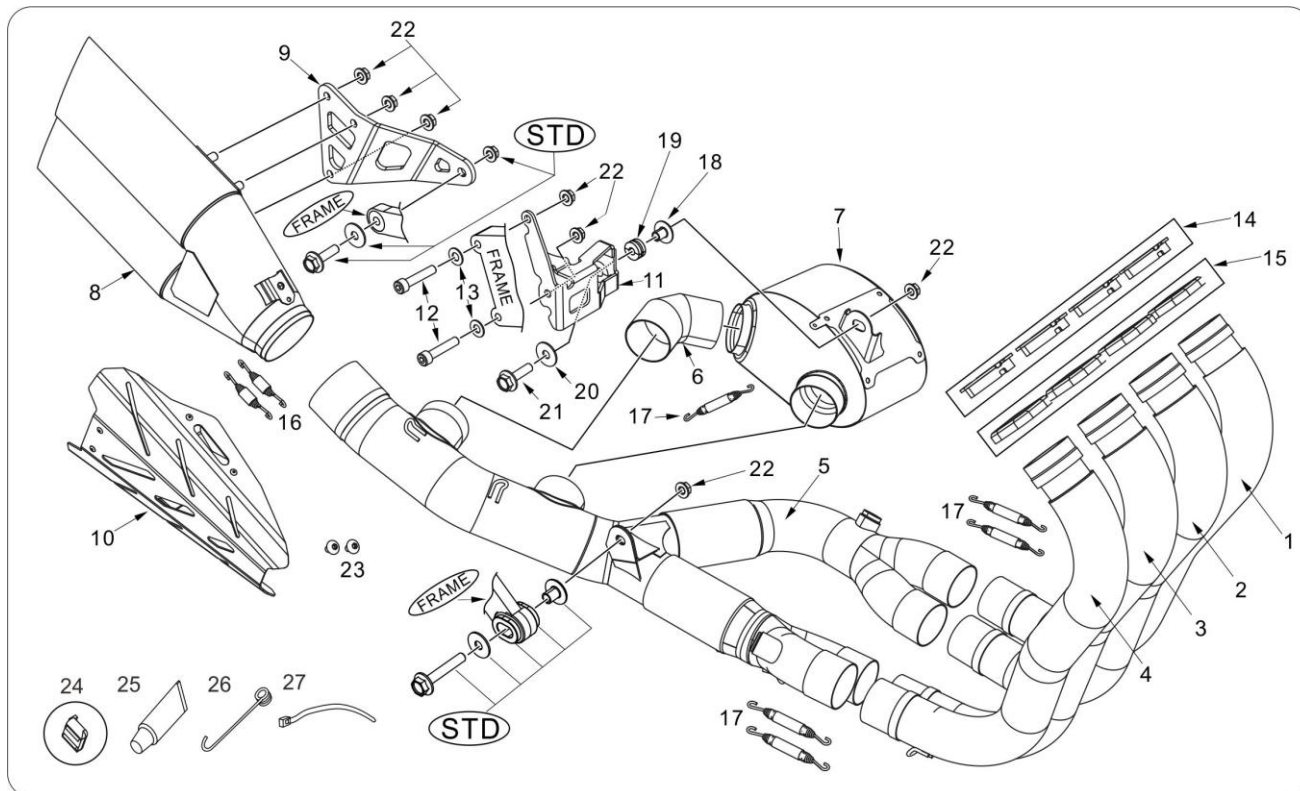


# MORIWAKI CROSS SHORT TWIN(BLACK/SUS) HONDA '18-20 CB1000R

Parts No. 01810-401S5-00 / 01810-441S5-00



【構成部品表】

※図中の「STD」とは車両純正部品です。取付けに再使用します。

No.	部品番号	商品名	入数	単価(税込)	No.	部品番号	商品名	入数	単価(税込)
1	18110-401S5-00	フロントパイプ#1 BLACK	1	¥15,400	11	18251-401S5-00	サブサイレンサーマウントステー	1	¥4,180
	18110-441S5-00	フロントパイプ#2 SUS			12	970000-08045	キャップボルト8X45	2	¥138
2	18120-401S5-00	フロントパイプ#2 BLACK	1	¥15,400	13	993000-08018	ワッシャー-SUS	2	¥61
	18120-441S5-00	フロントパイプ#2 SUS			14	18113-H01G1-00	ジョイントカラー-38	4	¥1,100
3	18130-401S5-00	フロントパイプ#3 BLACK	1	¥15,400	15	18112-401S5-00	エキゾーストフランジ	4	¥2,200
	18130-441S5-00	フロントパイプ#3 SUS			16	18335-90607-20	スプリングショート	2	¥572
4	18140-401S5-00	フロントパイプ#4 BLACK	1	¥15,400	17	0A02-08709-KK11	スプリングロング	5	¥759
	18140-441S5-00	フロントパイプ#4 SUS			18	0312-11250-F010	グロメットカラー	1	¥352
5	18210-401S5-00	テールパイプ BLACK	1	¥135,300	19	0312-17250-DR00	グロメットラバー	1	¥308
	18210-441S5-00	テールパイプ SUS			20	030A-08251-5100	ワッシャー-8mm	1	¥77
6	18250-401S5-00-130	ジョイントパイプ BLACK	1	¥4,620	21	973010-08030	フランジボルトM8X30	1	¥275
	18250-441S5-00-130	ジョイントパイプ SUS			22	982010-08000	フランジナット M8	7	¥110
7	18250-401S5-00	サブサイレンサー BLACK	1	¥48,400	23	97E080-06010	トルクストラヘッドボルトM6X10	2	¥110
	18250-441S5-00	サブサイレンサー SUS			24	18293-MN0-000	ラバー、プロテクター	1	¥142
8	18910-401S5-00	サイレンサー BLACK	1	¥88,000	25	860-806-0600	液体ガスケット ME30	1	¥660
	18910-441S5-00	サイレンサー SUS			26	3A32-00000-00T0	スプリングブラ	1	¥220
9	18950-401S5-00	サイレンサー、ステー	1	¥6,820	27	90650-35150-10	セルフロックナット <sup>3.5x150 BK</sup>	1	¥44
10	18940-401S5-B0	エキゾーストガード BLACK	1	¥11,550	排ガス証明書				
	18940-401S5-00	エキゾーストガード WHITE			取扱説明書				

【製品仕様】

製品名	MORIWAKI CROSS SHORT TWIN (BLACK/SUS)	インジェクション	純正状態
適合機種	Honda 18-20 CB1000R	オイル交換	本製品脱着不要
型式	ホンダ・2BL-SC80	フィルター交換	本製品脱着不要
排気音量	近接: 97dB/加速: 82dB	JMCA認定番号	JMCA3020007101
	近接相対値規制値: 102dB	製品重量	8.9kg

※規制値についてはJMCAウェブサイトをご確認ください。 URL : <http://jmca.gr.jp/>

## 【必要工具】

- ・ソケットレンチ：10mm,12mm ・ユニバーサルジョイント ・エクステンションバー
- ・ヘキサゴンレンチ：6mm ・ラチェットメガネ又はラチェットコンビ：12mm
- ・スパナ：17mm（又はフレアナットソケット17mm） ・トルクスレンチ：T30
- ・軍手 ・ウエス ・ネジロック剤 ・脱脂洗剤 ・モリワキレーシングメンテナンスマット等

## ⚠ 注意

- ① 本説明書は、基本的な車両整備の知識や技能のある方を対象に解説しております。また車両のサービスマニュアル書も参照の上、作業が必要となります。
- ② 作業する際には、エンジンを十分冷ましてから行なって下さい。 図.1
- ③ エンジン始動による騒音や発熱、排気ガスでの中毒や汚染など、ご自身や周囲への安全の確保と、マナーと配慮を心掛けて下さい。
- ④ 走行時に脱落などのトラブルが発生しないよう、各部の締め付けは十分確認して下さい。
- ⑤ 走行中振動によりボルト類が緩む事がありますので、定期的に点検と整備を行って下さい。特に転倒後には、緩みやすくなりますので必ず点検して下さい。
- ⑥ 車両にスイングアーム、ステップ等の改造がありますと装着出来ない場合があります。改造による取付け不良や破損等の返品はお受け出来ませんのでご了承下さい。
- ⑦ 転倒歴のある車両では、取付ける事が出来ない場合があります。確実に取付ける事が出来ない場合には、本製品を使用しないで下さい。
- ⑧ 取り付け作業は必ず清潔な手袋などを着用し、マフラーへ手の油分が付着しないように注意してください。

## 【純正部品の取り外し】

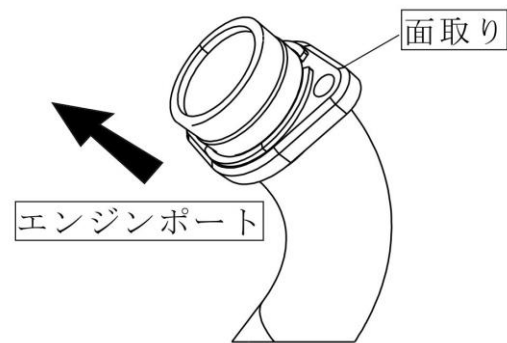
車両のサービスマニュアルの手順に沿って、純正マフラーとO<sub>2</sub>センサー、左側のグロメットラバーを取り外して下さい。

※純正O<sub>2</sub>センサーは本製品取り付けに再使用します。配線の通道路の写真を撮っておくことをお勧めします。

※部品構成図中の「STD」の印がある部品は本製品取り付けに再使用します。

※純正マフラー、サイレンサーは重量があるので取り外した際の落下などにはご注意ください。

図.1



## 【取付け準備】

- ① 図.1,2を参考にフロントパイプ（部品表①～④）へEX.フランジ（部品表⑮）、ジョイントカラー38（部品表⑭）の順に部品を取り付けます。EX.フランジの面取り部がエンジンポート側へ向くように取り付けます。

- ② エンジンポートのマフラーガスケットを確認し、損傷が激しい場合は、新品への交換を推奨します。本製品には付属しておりません、別途ご準備ください。

（純正部品：ガスケット、エキゾーストパイプ 18291-MN4-920）

- ③ 各パイプの差し込み口の内側に、液体ガスケットを薄く塗ります。（図.3,4）

- ④ 部品図を参考にテールパイプ（部品表⑤）、ジョイントパイプ（部品表⑥）、サブサイレンサー（部品表⑦）組立してスプリングロング（部品表⑰）で固定します。

図.2

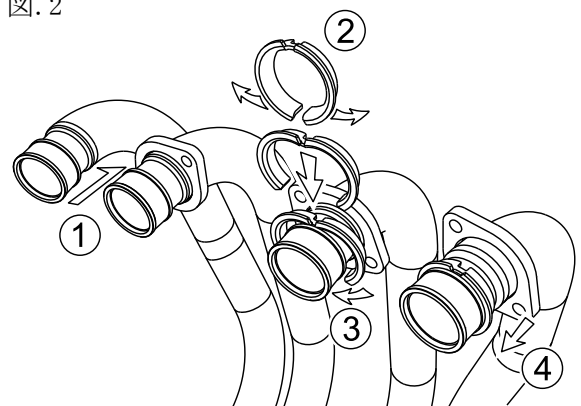
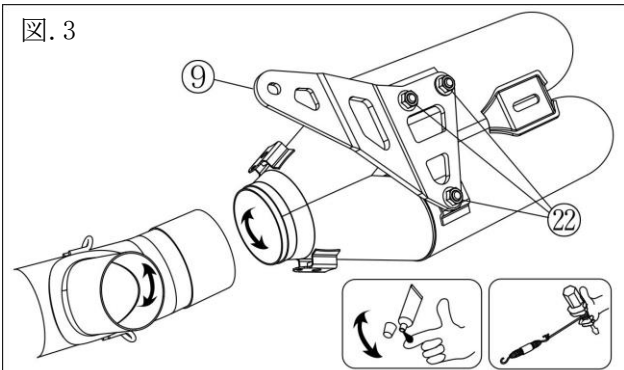


図.3



⑤ サブサイレンサーマウントステー（部品表⑪）へグロメットラバー（部品表⑱）、グロメットカラー（部品表⑲）を組み込みます。（構成図参照）

⑥ サイレンサー（部品表⑧）へ、サイレンサーステー（部品表⑨）をフランジナット M8（部品表⑳）を使用して仮止めしておきます。（図.3）

### 【製品の取り付け】

① 先の手順で組立したサブサイレンサーマウントステーを車体へ取り付けます。

- ・右ステップを固定している純正ボルトを取り外し、キャップボルト M8X45（部品表㉒）、ワッシャーSUS（部品表㉓）と交換します。

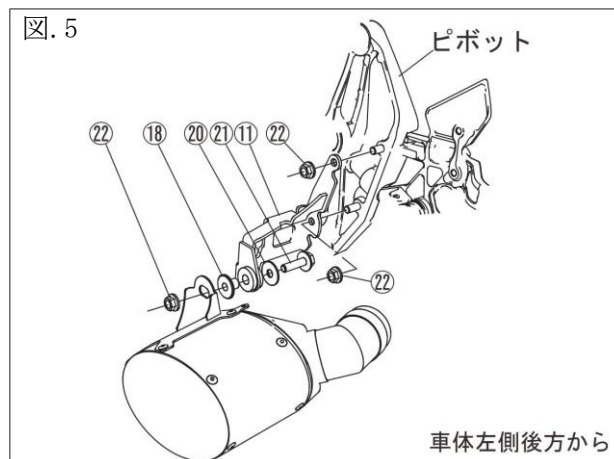
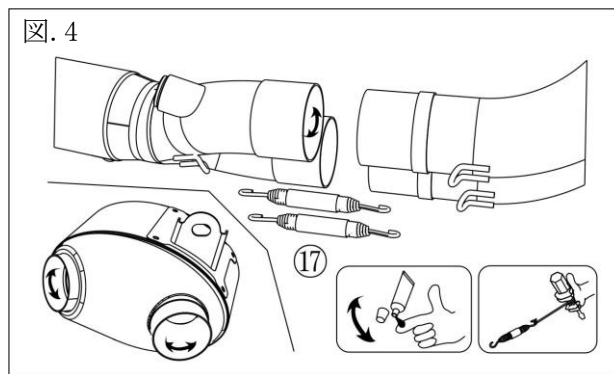
締め付けトルク (22[N.m]/2.2[kgf-m])

- ・図.5 を参考にピボットの裏側からサブサイレンサーマウントステーを、フランジナット M8（部品表㉒）を使用して取り付けます。

締め付けトルク (22[N.m]/2.2[kgf-m])

※締め付け時はボルト側に十分にトルクかけながらナットへトルクをかけます。

※工具のアクセスできる場所が限られます。上部ナットはピボットの前方からアクセスします。

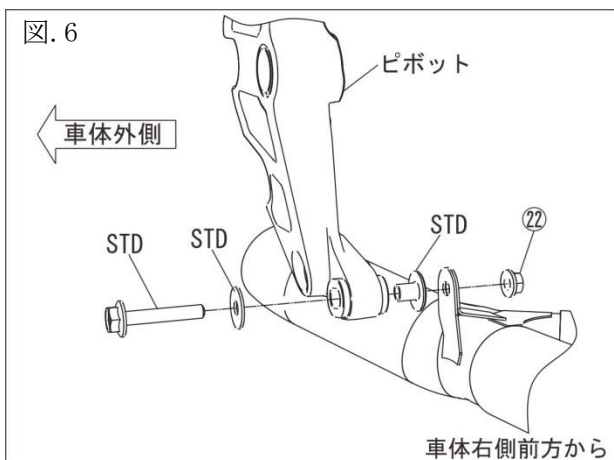


② フロントパイプ#1～4（部品表①～④）をSTDエキゾーストフランジナット（STD）を使用して仮止めします。

※ナットの締め込み過ぎに注意してください。

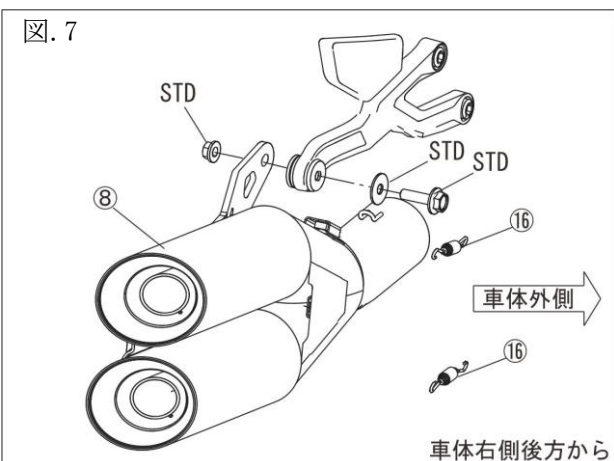
③ 先の手順で組立したテールパイプをフロントパイプに差し込み、同時にテールパイプ中間部のステーを、車体側ピボット下のステーへ仮止めします。グロメット（STD）、グロメットカラー（STD）、ボルト（STD）、ワッシャー（STD）フランジナット M8（部品表㉒）を仕様します。（図.6 参照）

仮止めしたらフロントパイプとテールパイプをスプリングロング（部品表⑰）で固定します。

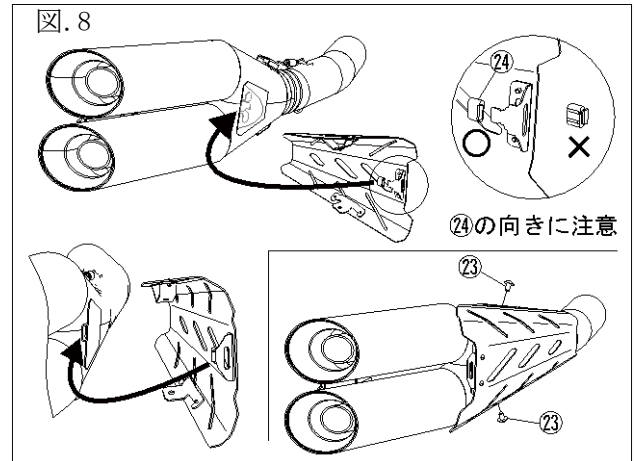


④ サブサイレンサーのステー部を先の手順で取り付けしたサブサイレンサーマウントステーへ、フランジボルト M8X30（部品表㉑）、ワッシャー8mm（部品表㉔）、フランジナット M8（部品表㉒）を使用して仮止めします。（図.5）

⑤ サイレンサー（部品表⑧）を仮組したテールパイプへ差し込み、ステップ後部のステー部に、STD ボルト、ワッシャー、ナットを使用して仮組します。次に、スプリングショート（部品表⑰）で固定します。（図.7 参照）



- ⑥ テールパイプへ STD O<sub>2</sub>センサーを取り付けてカプラーを接続します。  
 ※右側ケーブルのたるみを適切に調節して、付属のセルフロックバンド  
 (部品表⑳)で固定してください。



- ⑦ 図.8 を参考にエキゾーストガード(部品表⑩)にラバー(部品表㉔)を取り付けします。 ※ラバーの向きにご注意ください。  
 トルクストラスヘッドボルト M6X10(部品表㉓)で取り付けます。

※ネジロック剤を使用してください。

※マフラーとの取り付けクリアランスはギリギリの設定となっております。  
 十分に養生をしながらの作業をお勧めします。

※テールパイプと干渉しないようクリアランスを調整しながらボルトを締め込みます。

- ⑧ ボルト、ナット類の本締めをします。  
 ※以下の順序で本締めしていきます。

- |                              |                                   |
|------------------------------|-----------------------------------|
| ・ フロントパイプ:エキゾーストフランジナット, 7mm | M7 締め付けトルク( 16[N・m] / 1.6[kgf・m]) |
| ・ テールパイプ:ボルト 8mm             | M8 締め付けトルク( 22[N・m] / 2.2[kgf・m]) |
| ・ サブサイレンサー:ボルト 8mm           | M8 締め付けトルク( 22[N・m] / 2.2[kgf・m]) |
| ・ サイレンサー:ボルト、ナット 8mm         | M8 締め付けトルク( 22[N・m] / 2.2[kgf・m]) |
| ・ O <sub>2</sub> センサー        | M12 締め付けトルク(24.5[N・m]/2.5[kgf・m]) |
| ・ エキゾーストガード:ボルト 6mm          | M8 締め付けトルク( 10[N・m] / 1.0[kgf・m]) |

### 【取り付け仕上げ】

- ① 各ボルト、ナット類の締め忘れは無いか再確認し、エンジン始動前にマフラーの汚れを除去してください。塗装製品への溶剤系脱脂剤は塗料を溶かす成分の物も有りますので、使用しないでください。
- ② エンジンを始動します。
- ③ エンジンを始動後、各部の排気漏れが無い事を確認します。



エンジン排気ポート部分からの排気漏れがある場合は、今一度各部の締め付けを緩め、エンジンポートに的確になじむように締めなおします。



エンジン始動直後に

塗装製品のマフラーの塗装をなじませるため、約5分間程度のアイドリングを行って下さい。  
 なじむ前に、急激な高温を与えると、耐熱塗装の塗膜が剥離する場合があります。



エンジン始動後 15 分程度は慣らし運転を行って下さい(吸音材の慣らし)。この時、白い排気ガスや、サイレンサーの水抜き穴から水蒸気等が出る場合がありますが、性能上問題ありません。

## 【セッティングについて】

モリワキストリート用マフラーは、すべてスタンダードの状態で性能が発揮されるように設計されています。  
マフラー装着にともなうインジェクションなどのセッティングの必要はありません。  
マフラー交換に伴う性能悪化が見られる様であれば、エアクリーナーやプラグ等を整備してもう一度確認して下さい。

## 【JMCA について】

全国二輪車用品連合会 (JMCA) は、違法改造部品問題が直接の設立動機となり、警察庁をはじめ、国土交通省の指導もと不法製品一掃とその製品に歯止めをかける活動をしています。  
「JMCA 認定プレート」にて認可されたマフラーは、(財)日本車輛検査協会の公認検査を受け法規制値をクリアしたうえ、安全をみこした自主規制をも合格した製品です。

## 【メンテナンスについて】

マフラーボルトの緩み、排気漏れ、転倒による取り付け不良などを定期的に点検して下さい。  
走行による汚れは、市販の中性洗剤等をご使用下さい。  
脱脂剤は、塗装製品の、塗料を溶かす成分の製品も有りますので、使用できません。

## 車検の際は、付属の排出ガス試験結果証明書が必要となりますので持参して下さい。

本説明書は保管し、メンテナンス等の機会に活用するようにして下さい。  
製品上の問題点、取り付け時の不明点等がありましたら、お気軽にお問い合わせ下さい。  
記載内容、価格、仕様等は、製品改良のため、予告なしに変更する場合があります。



### 株式会社モリワキエンジニアリング

〒513-0825 三重県鈴鹿市住吉町 6656-5

Tel 059-370-0090 Fax 059-370-0152

Home Page <http://www.moriwaki.co.jp>